

マユミ (真弓)

ニシキギ科 落葉広葉樹

花期：5～6月 果実：10～11月

形態：花は約8mmで淡緑色の花をまばらに咲かせ、果実は8～10mmの四角形で淡紅色に熟して4つに深く裂けると、赤い仮種皮に包まれた種子が現れる。樹皮は灰白色で老木になると縦に少し裂ける。葉は楕円形または倒卵状楕円形で先は鋭くとがり、ふちには細かい鋸歯がある。

利用：庭木、公園樹、盆栽、玩具などに用いられる。

薬効：樹皮を日本で合歓皮ごうかんひの代用にして、駆虫、鎮痛、鎮咳に用いられたことがあるが、合歓皮はマメ科のネムノキなどの樹皮であり、植物学的には類縁関係はない。

名の由来：和名は昔、この材で弓を作ったことに由来する。

〈参考文献〉

木村康一、木村孟淳：原色日本薬用植物図鑑（㈱保育社 1964

（財）林業土木コンサルツ：自然をつくる植物ガイド 1993

林 弥栄：山溪カラー名鑑日本の樹木（㈱山と溪谷社 1985



ありがとう未来へつなげ森のめぐみ

第57回全国植樹祭

平成18年5月21日 GIFU